
[た よ り]

常任理事会だより

山川智之

本稿では、前号で報告後、平成20年11月28日、12月19日、平成21年1月23日、2月27日に開催された計4回の常任理事会の内容のうち主なものをお伝えするとともに、日本透析医会の主な活動についてご報告します。

1. 診療報酬改定に対する対応について

平成20年度の診療報酬改定では、6年ぶりに透析時間区分による人工腎臓点数の復活が実現、またEPOの実売価格の下落にもかかわらず、EPOが包括された外来透析技術料は維持されるなど、日本医師会の先生方のご指導、ご協力、厚生労働省の担当者の方々のご理解により比較的我々の要望が通った改定でしたが、透析医療を取り巻く環境は厳しく、次回、平成22年度の改定については予断を許さない状況です。次回改定においては、透析施設の経営状況や特に地方の透析医療における人材不足、感染性廃棄物処理費用や各種器材経費の上昇などを当局に理解して頂き、大幅な診療報酬の引き下げを招くことのないように準備を進めて参ります。会員の方々のご協力、ご理解をよろしくお願い申し上げます。

2. 透析患者における新型インフルエンザ対策

人が免疫を持たない新型インフルエンザが大流行した場合、集団で同時に治療を受ける透析治療の特性を鑑みた対策が必要という問題意識から、日本透析医会では日本透析医学会と合同で、新型インフルエンザ対策合同会議を開催し、対策について検討しました。医会各支部長に各都道府県担当者との協議などをお願いすると共に、「透析施設における新型インフルエンザ対策ガイドライン」を作成、日本透析医会のホームページに掲載し会員の方々に配布いたしました。なお、12月16日に医学会の担当者と共に厚生労働省疾病対策課を訪問し、新型インフルエンザ感染対策ガイドラインについての説明をするとともに、各都道府県担当者への本件の趣旨に添った文書の発出を要望しております。

3. 災害対策事業について

かねてから災害情報ネットワークを携帯電話対応にするシステムを開発中でしたが、ほぼ完成し、まもなく正式に運用開始の予定です。詳細についてはメール等でご案内いたします。

4. 公募研究助成について

日本透析医会の公募助成に対する応募を厳正に審査の結果、6研究に助成を行うことに決定しました。なお、日本透析医会の研究助成は、将来に残る設備や備品に関しては対象外としておりますのでご了承ください。

5. 日本透析医会研修セミナーなど

平成21年3月8日(日)に、日本透析医会研修セミナー「透析医療における Current Topics 2009」を開催しました。お忙しいところ多数のご参加を頂きありがとうございます。本セミナーの内容については、本誌2号(8月末発刊予定)以降に掲載の予定です。なお、今後の予定ですが、10月4日(日)には品川のココヨホールにおいて、日本透析医会シンポジウムを開催することになっております。